

日光白根山の火山活動解説資料（平成 29 年 8 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜^{うたがはま}監視カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震活動（図 2 - 、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2 - ～ 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況
(8 月 5 日 歌ヶ浜^{うたがはま}監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 9 月分）は平成 29 年 10 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

日光白根山

計数基準変更履歴

開始	2010 年 12 月 10 日～	五色沢振幅：1.0 μ m/s 以上、S-P：1.5 秒以内
変更	2011 年 3 月 11 日～	五色沢振幅：10.0 μ m/s 以上、S-P：1.5 秒以内
変更	2013 年 7 月 1 日～	五色沢振幅：2.0 μ m/s 以上、S-P：1.0 秒以内

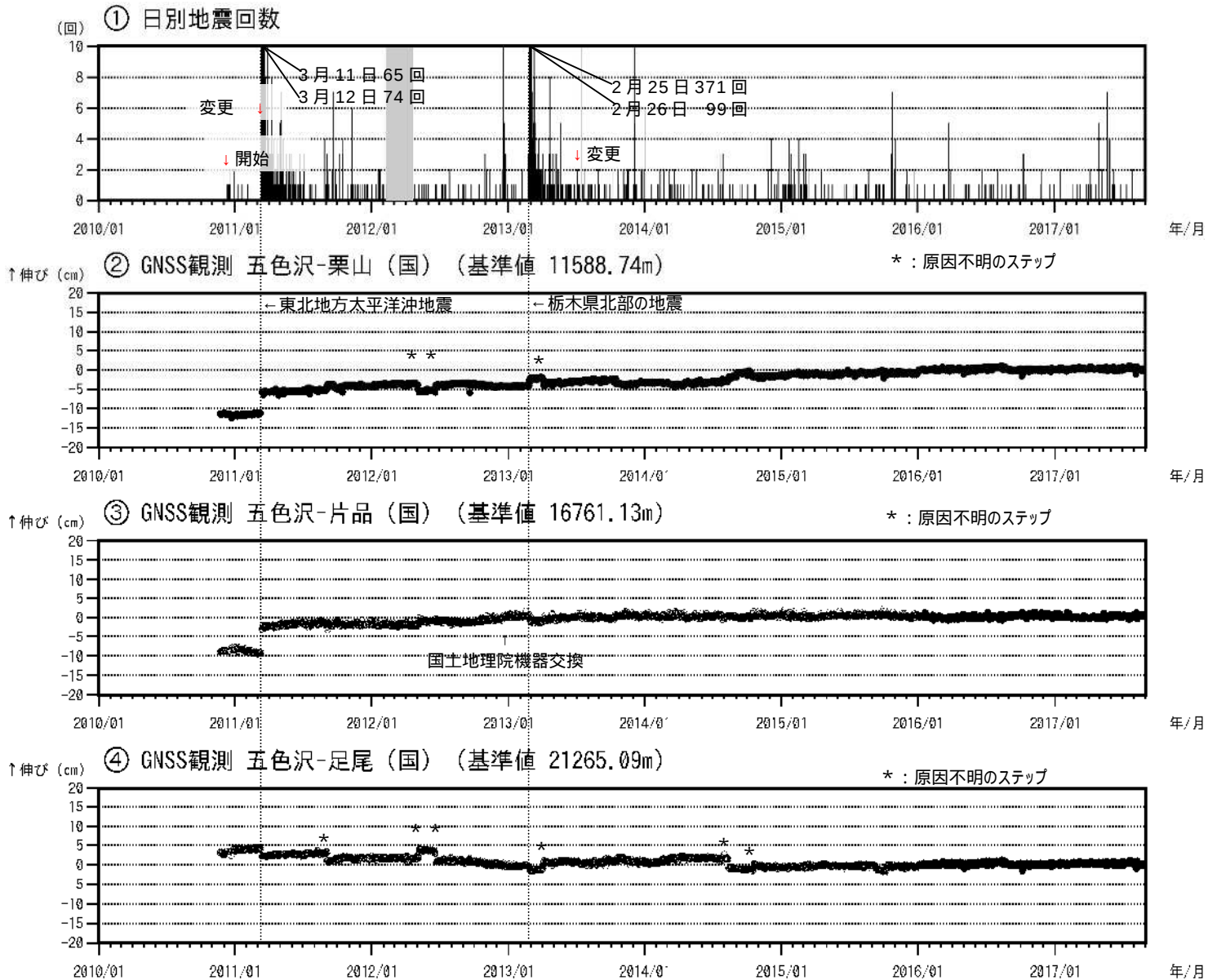


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010 年 11 月 20 日～2017 年 8 月 31 日）

日光白根山周辺の日別地震回数 2010 年 12 月 10 日観測開始

- ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。
- ・『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震』以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震（ M^2 6.3）以降、日光白根山の周辺で再び地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。

～ GNSS 連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

五色沢観測点の運用開始日：2010 年 11 月 20 日

- ・グラフの空白部分は欠測を示しています。～ は図 4 の～の基線に対応しています。
- ・『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震』及び 2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震（ M 6.3）の影響により、ステップ状の変化がみられます。

2) M （マグニチュード）は地震の規模を表します。

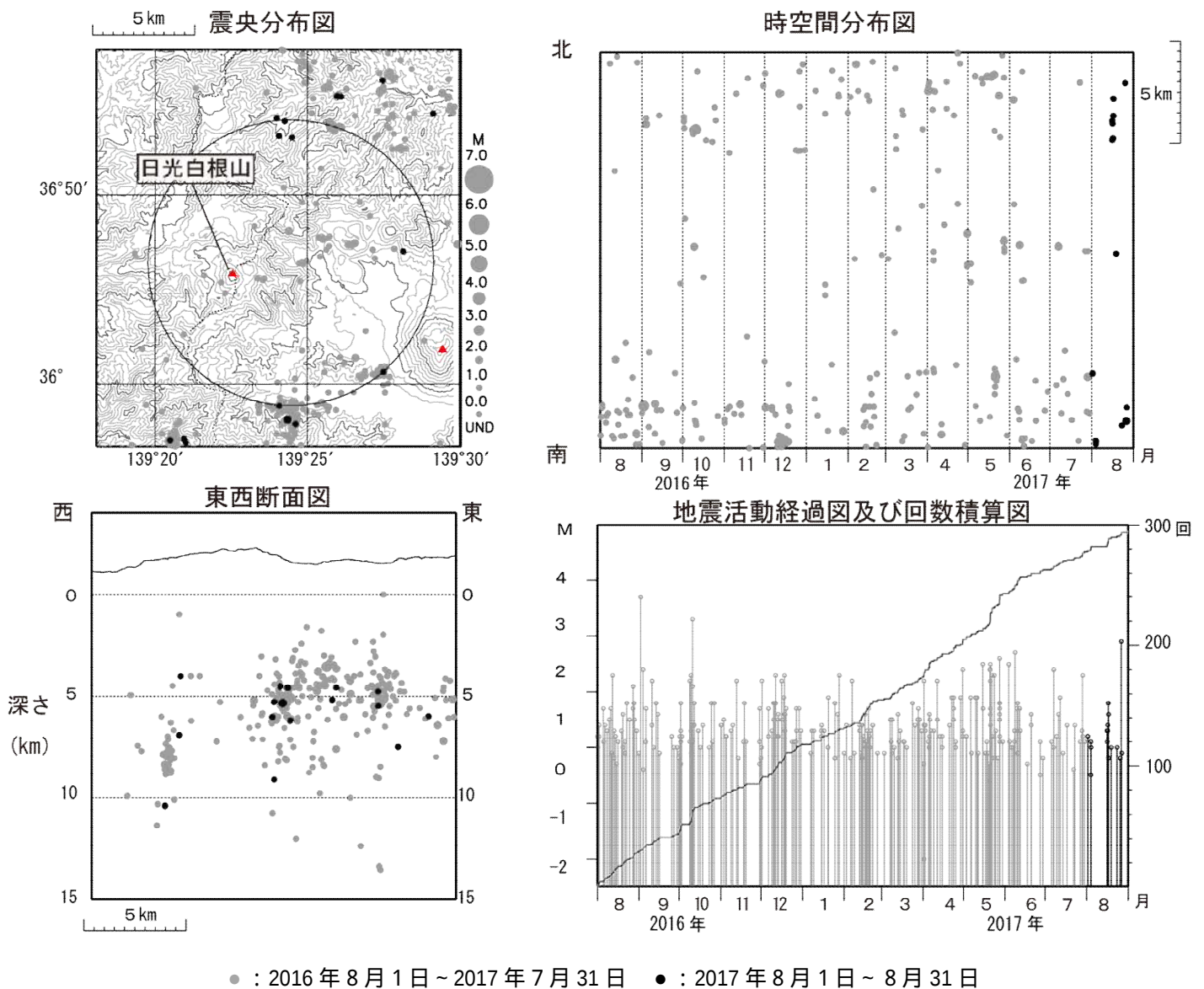


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016 年 8 月 1 日 ~ 2017 年 8 月 31 日)

- ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震（五色沢でS - P時間1秒以内）のおよその範囲を示しています。
- ・震源の深さは全て海面以下として決定しています。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

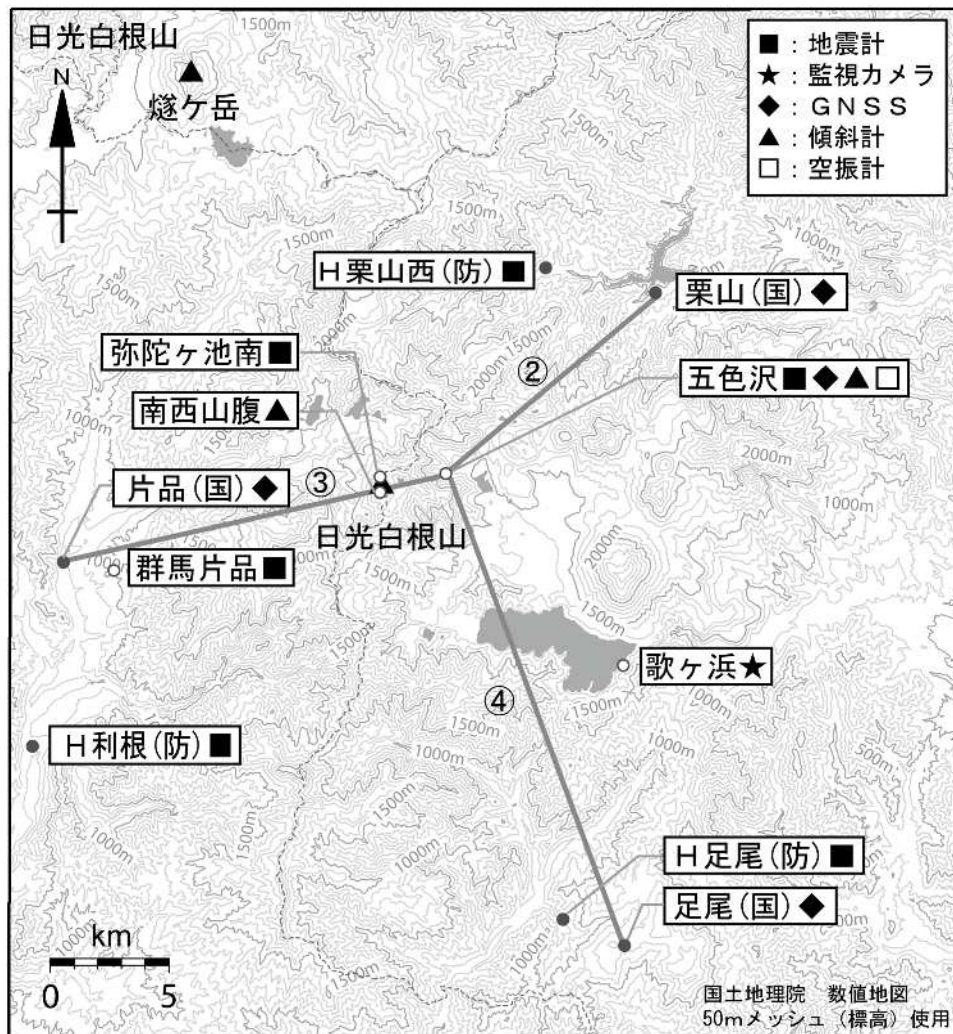


図 4 日光白根山 観測点配置

・GNSS 基線 ～ は図 2 の ～ に対応しています。